

本格的な救急・救命法を学んで、おとなと同じ「認定カード」をゲット！

【こどものための救急・救命セミナー】

- 日程** 8月17日(火)、8月19日(木) 全2回
- 時間** いずれも13:00～17:00(4時間、休憩あり)
- 持ちもの** 筆記用具(テキストと教材は当日配布します 動きやすい服装でおこしください)
- 会場** 東京都千代田区(お申し込み後に地図を送ります)
- 受講料** 9,000円(内税、教材費、認定料を含む)
1日のみの受講の場合は6,000円
- 認定証** 2日間の全講習を受けた人には、国際救急救命協会の、“Cardiopulmonary resuscitation and Emergency Care”(心肺蘇生法と救急法)の認定カードを発行します。
- 対象** 小学校4年以上、高校3年生まで
- 講師** 国際救急救命協会理事長 澤木勇二 先生
- (最少催行人数: 4名)

国際救急救命協会とは？

日本の民間救急救命教育のフラグシップ組織。特に心肺蘇生については、わが国に「国際トレーニングセンター」ができる以前からアメリカで資格を取り、独自にAHAコースを導入してきました。

現在も毎年、アメリカで最新のスキルやメソッドを調査し、日本の現状に適した形で導入しています。この実績と確かな指導内容が認められ、日本では数少ないAHA(American Heart Association:アメリカ心臓協会)の国際トレーニングセンターとして認定を受け、日本、韓国、オーストラリアでセミナーと救急法の普及を行なっています。

AHA(American Heart Association:アメリカ心臓協会)とは？

心肺蘇生法(止まってしまった呼吸や心拍をよみがえらせる)には、国際的なガイドラインがあります。このガイドラインは、医療や世の中の変化にあわせて変える必要があります。それを決めるときに、中心となっている世界最大の学術組織がAHAです。

2日間の講習で、いざという時も、落ち着いてベストな対処ができるようになります！

救急法の基本と実習・・・救急隊や医師に渡すまでの処置や手当てで、その後の回復に大きな差が出ます。

N.A.E.M.T.(アメリカの全国救急医療協会)との提携による実践的なカリキュラムを、納得しながら学べます。

救命のための心肺蘇生法(CPR)・・・手順とやりかたを理解し、模擬人形を使って実際におこないます。駅や学校で見かけるAED(自動体外式除細動器)についても説明します。

【講師プロフィール】

澤木勇二(さわき・ゆうじ)国際救急救命協会理事長、日本聴覚障害者スポーツトレーナーズ協会理事長、帝京平成大学救急救命士養成科・非常勤講師、トライデントスポーツ医療専門学校・非常勤講師、日本救急医学会会員、日本臨床救急医学会会員、日本山岳会参与、A.H.A. ITC Faculty / Master Trainer、E.T.I. Master Trainer、NAEMT 極東地区代表。